



菩提寺まちづくり協議会

平成 24 年 6 月 25 日

まち協だより 16 号

事務局 菩提寺まちづくりセンター内 Tel 0748-60-1381

発行責任者 事務局長 田畑 一佳

山口 新会長のご挨拶

菩提寺まちづくり協議会 総会



この度、平成 24 年度菩提寺まちづくり協議会の通常総会において、会長に選出されましたみどりの村区の山口道夫でございます。

平成 20 年度に菩提寺まちづくり協議会(以下まち協)が設立され、これまで先輩の会長が粉骨砕身され築き上げられた後をお引き受けするのは、身が引き締まる思いでございます。大役ではありますが、お引き受けする以上は力の限りお役に立ちたいと思っております。

さてこれから新体制がスタート致しますが、私たちを取り巻く環境としまして「厳しい経済環境」そして「少子高齢化の進行」のなかで、数年前のような「行政依存のまちづくり」から「地域主導のまちづ

くり」すなわち「地域のことは地域で取り組む元気なまちづくり」を推進していくことが、まち協の役務と理解しております。従いまして、今年度各委員会とプロジェクトチームが策定されました事業企画を推し進めていきたいと思っておりますが、次の点は取り組む上で大きなテーマであり、特に力を注いでいきたいと考えております。

1、組織の強化について

今後、まち協がさらに発展を続けていくためには、メンバーの増強が必要なことであり、「性別や年齢に関係なく、男女が協働できる体制」を推進していきたく思っておりますので、住民の皆さまの参加を願っております。

2、「きらめき湖南杣」地域活性化推進事業について

昨年は、「良弁さんと活かす歴史の郷事業」で多くの成果を収める事ができ、「地域の絆

がより一層に深まりました。その成果を踏まえて、今年度は菩提寺のBとBAMBOO(竹)のBをとって、「B・B大作戦」と題して学区内の竹林を整備して、子供から大人までが楽しめる「新しいコミュニティ公園」にしたいと思っております。地域活性化委員会が軸となり、滋賀県立大と連携して、来年4月の開園を目処に、老若男女の住民の皆さまと一緒に、庭園造りを進めていきますので、ひとりでも多くの方々の参加を願っております。

3、コミュニティセンターの建設について

この案件は、新たな地域活性化の拠点とするために数年前から取り組んできておりますが、保安林解除の問題で当初の計画より大幅に遅れており、今後何としても実現に向け、湖南省生涯学習課と菩提寺学区選出の市議会議員と区長そしてコミセンプロジェクトが一体となり、粘り強く取り組んでいきます。

4、新消防体制について

かねてから懸案事項であります「北学区消防体制」の整備に関しては、災害発生時など危機管理の上で重要な課題でありますので、今年10月末を目処に消防車を配備出来るようスピードを持って取り組んでいきます。

最後になりますが、今後皆さまのご指導とご鞭撻を賜りますように、また皆さまのご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げまして、会長新任に当たってのご挨拶とさせていただきます。

「霧降の滝」へのアクセスが便利に！ 文化芸術委員会 広報 馬場正勝



昨秋、菩提寺地域の古絵図に描かれた「霧降の滝」の発見を紹介致しました。その滝へ自由に近寄るのが困難な状態でしたが、菩提寺生産森林組合のご協力を得て、4月に登坂路がつながりました。入口から霧降の滝までは約500mです。表示標識など未整備状態の登坂路ですが、天気の良い日は安心して登って頂けます。

今年度は登坂路の整備・植栽から、滝壺作りにも挑戦し

たいと欲張っています。

今年度の主な活動計画は「歴史の小径」「霧降の滝」登坂路の維

持整備に加えて、面白く楽しい写真コンテストや、DVDでの「菩提寺の四季」の紹介など、将来、地域ブランドに育つ種子の発掘や、菩提寺地域の素晴らしさを認識する事業を推進して行きたいと考えています。

毎月第4日曜日の9:00～午前中を定例活動日としています。

「霧降の滝」や「歴史の小径」の案内をご希望の方は、菩提寺まちづくりセンターに9:00までに集合して頂くか又は、高井商店(74-1094)までご連絡下さい。多くの方々のご参加をお待ちしております。

北学区に 消防車が！

菩提寺地域は、ここ30年間で住民の急増により現在約12,000人が住む大きな地域となりました。14年前の阪神淡路大震災と直近では昨年の東日本大震災、奈良和歌山での12号台風での風水害等から、この地域におきましても自主防災の気運が高まり、いつ発生するかも分からない災害に備えて、ふるさと防災チームの環境整備が各区で進んできました。現

新消防プロジェクト リーダー 山口 道夫

状の地域課題として、ここまで大きな所帯数でありながら、自主消防団が菩提寺区の1つの班体制しかなく、いつまでも菩提寺区の消防班に依存していくことには限界があります。今後新興住宅地の北学区地域に新消防体制の実現に向けて、湖南省危機管理部署と鋭意検討を行い予算の確定、土地の確保、消防車庫の設置、その他必要事項の取り組みにより、今年10月末

を目処に消防車が配備出来るように進めています。一方消防団の体制整備については、新興住宅区から昨年はサイドタウンとみどりの

村から計3名の入団がありました。今年度も引き続き入団者の推進をして行きますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

菩提寺の“うまいもん講座”開催！ 地域活性化委員会 広報 白阪 聡久



2011年度きらめき湖南事業の一環として、菩提寺に古くから伝わる食文化を学ぶ“うまいもん講座”を開催しました。お祭りやお祝い事の時に振る舞われていた「押し寿司」を水無月会メンバーから講習を受けました。

3月11日のきらめき菩提寺のつどいでは、講座の受講生の皆さんが300食分を実際に調理し、出席者にふるまいました。試食いただいた方々からは「大変美味しい」「素朴な中に奥深さを感じた」などのお褒めの言葉がありました。また、講座の受講生からは「菩提寺の誇る食文化として受け継いでいきたい」「菩提寺の伝統を受け継ぐ方々と交流ができて良かった」

などの声が聞かれました。

一連の講座は一区切りが付きましたが、地域活性化委員会では菩提寺の食文化継承のための様々な取り組みを続けていきたいと思えます。



ロケット打ち上げのカウントダウン！！ 人材交流委員会 三上 伸征



今年は、新たな取り組みとして、親子フォーラムで、ペットボトル・ロケットの製作とお盆には、千本・竹灯籠を灯して、先祖をしのび、みんなで音楽を聞く、楽しい夕べを計画しています。

24年度の活動計画

- 5月～ 学校の活動支援
- 7月31日(火) ペットボトル・ロケット製作(親子フォーラム)
- 8月16日(木) 千本・竹灯籠
- 11月4日(日) 親善ソフト・ボール大会
- 11月11日(日) まちづくりフェスタ
- 12月～ 三角カレンダー製作

子育て支援事業 福祉安全委員会(暮らし安全委員会改め) 委員長 藤原 光司

☆ 福祉事業 民生委員の方の協力の下、子育てに悩み孤立されている親たちの交流の場作りなど子育て支援として、以下の事業を計画しています。

- ・『交流広場』 親の交流と講演会開催

- ・『イクメン倶楽部』 子育てに関わる父親の交流会
- ・『わいわい広場』 子供をのびのび遊ばせる場

☆ **安全事業** 「安全で住みよい環境づくり」をテーマに、6月10日「防災体験講習」として各自治会代表者に参加していただき、大阪市阿倍野防災センターと津波・高潮ステーションで、災害時に必要な行動を体験し、災害について考え学んでいただきます。

☆ **その他の事業** 防災訓練の実施や見学・炊き出し訓練・防災や災害に関する講演会の開催や参加などを予定しています。



『B・B大作戦』について

安心・安全と憩の場づくり、我らの菩提寺 プロジェクトリーダー 保田 芳利

きらめき湖南地域活性化推進事業で、菩提寺まち協から『B・B大作戦』を提案したところ、事業採択され、湖南市からの交付金150万円とまち協の運営資金30万円の、合計180万円で事業に取り組めるようになりました。会員皆様のご理解とご協力をお願い致します。



荒れ放題の竹林

事業名は、竹を英語でバンブーと言いますが、その頭文字のBと菩提寺の頭文字のBを取り、『B・B大作戦』と名付けました。主な事業は「菩提寺ふれあいファーム」を開園です。場所は菩提寺新道沿いにある鶴ヶ下の散髪屋さんの横の道を北山台に向かって行くと、菩提寺区が所有している約3000平方メートルの竹林あります。

数十年前までは、竹は生活用具や田畑の生産用具などあらゆる生活場面に活用していました。しかし、ライフスタイルの変化により、竹を使用しなくなったため、竹林が放置され荒れ果ててしまいました。放置竹林は、ゴミの不法投棄や犯罪の温床となる可能性があります。まち協では、これを整備し、地域の安心や安全を確保するために過去数年間取り組んできましたが、まち協の事業費

だけでは思うように整備が出来ず、今日に至っています。湖南市から交付金をいただきまして、この事業に菩提寺まち協を挙げて総力で取り組みます。

「菩提寺ふれあいファーム」とは、竹林を整備して、以下の事業を行います。

- (1) 駐車場の整備
- (2) 竹で管理棟を建て、竹細工や竹炭作り教室の開催
- (3) 竹林を気持ちよく歩ける散歩道づくり
- (4) ひらたけやシイタケを栽培するきのこ栽培エリアづくり
- (5) 家族やグループで楽しめる竹の子取りエリア整備
- (6) 小学生のため自然観察や体験学習の場づくり



整備後のイメージ

この事業を行うことで、『憩い』と『ふれあい』の場ができ、『交流』と『絆』が深まり、住民相互のつながりが増すことで、安全で住みよいまちづくりが推進されます。

今回は、滋賀県立大学と協働して、管理棟の建設などにあたります。

来年4月にふれあいファームの開園に向け進めて行きます。今年度は、会報発行毎に最新状況をお知らせしたいと考えています。

目的や目標はこの様な事ですが、まず竹林の整備をしなくてはなりません。竹を切り、整理

して片付けるだけでも相当な作業量になると考えられます。ご協力いただける方は菩提寺まちづくりセンターまで申し出ただければありがたいです。多くの方に携わっていただいて、菩提寺の横のつながりを深めていきたいと考えています。

♪ 団員募集！！ きらめき合唱団 ♪

2年目の合唱団活動は、新しく指揮者に、サイドタウンより前田悦代先生をお迎えしました。合唱曲をもっと広く親しんでいただくために、新しい歌にもチャレンジします。また、発表の機会を多くして地域の皆さんの交流が深まるような活動に励みます。

地域交流の場を広げるため、団員を募集しますので、仲間を誘ってご参加ください。

詳しくは、ポスター等をご覧ください。

ポスターは、まちづくりセンター、各自治会館に掲示しています。



健康体操教室のお知らせ

この度、菩提寺まちづくり協議会では、湖南市社会福祉協議会の福祉事業の要請にこたえて今年の9月～11月の3ヵ月間、月に4回、計12回の健康体操教室を開催します。

内容は、健康リズム体操、健康ヨガ、健康ウォーキング等の教室を開催します。



優秀な指導者の下、正しい体操を身につけ、体力の増進、不測の事故防止、介護予防に備えます。

また、正しい歩き方を身につけ、ウォーキングをより一層、楽しいものにします。

詳しくは、7月の回覧で応募者を募ります。

※ 参加費用は無料ですので、是非、多くの仲間を誘って参加をお願いします。※

[先生紹介]

リズム体操	東 香里 (北山台)
ヨガ	竹内 キヌ (サイドタウン)
ウォーキング	赤井 猛児 (みどりの村)

担当:	人材交流委員会
責任者:	赤井 猛児
事務局:	三上 伸征